

## ■ 国際学会に参加してきました。



2011年12月4日から10日までサンフランシスコで開催された2011年米国地球物理学連合秋大会（American Geographical Union 2011 fall meeting）に、大気環境研究領域の児玉さんが参加しました。この出張は、女性研究者のキャリア育成支援の一環で行っている海外出張支援によるものです。

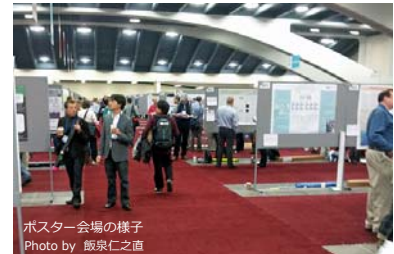
### ——— <児玉さんの報告から> ———

今回参加した学会は世界でおそらく最も規模の大きい学会であり、大会参加者は21000人を超えていたようでした。本年度は18000本の論文が採択され、うち口頭発表は6000件、ポスター発表は12000件ありました。

私は2件の口頭発表に関わり、発表後には多くの人からフィードバックをもらい、論文を書くために有用な情報を得ることができました。また、発表は10分、質問タイム5分とかなり厳しく時間が区切られていたために発表の練習にはかなり時間をかけました。学会中は、海外の研究所に滞在する元同僚や研究者と再会して、情報収集と近況報告ができました。

この学会は規模が大きいので、知り合いに出会うのは困難だと思われがちですが、部門ごとに会場が分かれているので興味的一致するような研究者と出会うのは意外と簡単でした。また、様々な分野の世界中の研究者が集まる学会なので、普段なかなか接することができない研究者と情報交換をするには絶好の機会でした。

また、同じセッションに参加した元同僚や共同研究者と食事をして、アカデミックな議論だけではなく、それぞれの国における経済状況と研究者のポジションについて話したり、共同研究の可能性についても探ることができ、とても充実した数日間を過ごすことができました。

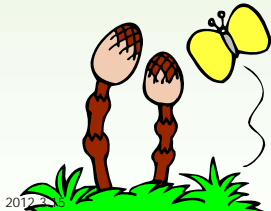


# News Letter

3月

海外出張に

行ってきました号



2012